



緑と清流の町 「青梅」で！

理事 土屋 みどり



9月18日、2020年オリンピック・パラリンピックの競技大会の開催都市が東京に決定し、日本全体がお祝いムードの今日この頃、「あの感動がまた日本にやってきます」未来の子どもたちのためにできることはなにか…。

そのような折、スポーツ祭東京2013「第68回 国民体育大会」カヌー競技が10月4日（金）～7日（月）、御岳渓谷特設カヌー競技場で開催された。期間中、私も数回足を運び、秋の一日、競技の迫力と醍醐味を間近で感じる事ができた。多摩川の流れと水の色、自然の美しさにうっとり、時間も忘れる。日頃より、自然環境に恵まれた素晴らしい渓谷で、年齢に関係なく長く競技を続けることができるカヌーは、今も幅広い年齢の方に楽しまれているようだ。水の上を滑るように流れ、激しく流れにぶつかり、ゴールを目指す。ルールがあまり解らない私だが、またこの地で、次回は2020年、東京オリンピックカヌー競技の開催を期待したいと思った。

今回、カヌー競技が行われた御岳渓谷は、日本名水百選に指定されている景勝地、新緑と夏の涼、紅葉など四季折々の自然の豊かさは、何度足を運んでも飽きさせない。多摩川兩岸の遊歩道には、美術館等の施設や、酒蔵、食にもこだわったおいしい店も並び、目の前には、標高929mの御岳山、古くから霊山として人々に崇められ、天気の良い日には東京都心まで見渡せ、夜は星が降るように見える。吉野街道沿いには、秩父多摩甲斐国立公園の玄関口にあたる東京随一の梅の名所、吉野梅郷「梅の公園」もすばらしい。やさしい梅の香に春の訪れを感じる季節は、たくさんの観光客で青梅の町が賑わう。

青梅市は、東京都の多摩地域にある市で、島嶼部を除いた東京都の中で4番目に大きい敷地面積があり、横を向いたイノシシの形が特徴的な、歴史と文化、自然に恵まれたとても良いところである。生まれてから一度も、青梅以外に住んだことのない私には、何にもかえがたい大好きな町である。青梅市街を包み込むように広がるなだらかな霞丘陵、山沿いには歴史ある寺があり、山あいの岩蔵温泉郷・七国山は埼玉県との県境に位置している。

かつて、宿場町があったとされる青梅宿、旧青梅街道の両側には、古い造りの建物が残り、昔懐かしい映画看板も掲げられている。町全体のレトロな雰囲気は、昭和の郷愁を誘う街並みである。以前青梅宿には、「大映とキネマ」という映画館があり、1964年当時小学生だった私は大映で東京オリンピックの映画を見た。「大きな画面に映し出される東洋の魔女と言われた女子バレーボール、そして男子陸上競技の姿は今でも鮮明に覚えている。あの時の感動がまたやってきます」運動は苦手な私ですが、いまから精一杯の応援をしたいと思っている。

2020年、青梅で色々な国の人々と出会えることを願って…。